

令和7年度 函館市医療・介護連携多職種研修会～介護関係者向け～
アンケート集計結果(令和7年6月12日開催分)

n=96 (回収率 90.6 %)

研修参加人数:106名

1. 所属エリアをお聞かせください。

・函館市	84	(87.5%)
・北斗市	9	(9.4%)
・七飯町	3	(3.1%)
計	96	(100.0%)

2. 所属機関をお聞かせください。

・医療機関	18	(18.8%)
・介護機関	69	(71.9%)
・その他	9	(9.4%)
計	96	(100.0%)

3. 現在、従事されている職種をお聞かせください。

・医師	0	(0.0%)
・歯科医師	0	(0.0%)
・薬剤師	5	(5.2%)
・保健師	5	(5.2%)
・看護師	10	(10.4%)
・ケアマネジャー	39	(40.6%)
・相談員	14	(14.6%)
・介護職員	14	(14.6%)
・歯科衛生士	0	(0.0%)
・栄養士	0	(0.0%)
・リハビリスタッフ	0	(0.0%)
・柔道整復師	0	(0.0%)
・マッサージ師・鍼灸師	1	(1.0%)
・福祉用具関連	0	(0.0%)
・事務員	0	(0.0%)
・その他	8	(8.3%)
計	96	(100.0%)

4. 今回のテーマ(内容)はいかがでしたか？

・よかった	94	(97.9%)
・どちらともいえない	2	(2.1%)
・よくなかった	0	(0.0%)
計	96	(100.0%)

【ご意見等】

【医療機関】

<薬剤師>

- ・リハビリに関わる病院側の現状や体制、考えを知ることができました。

<看護師>

- ・それぞれの病床機能がわかりました。MSWのお話を聞けて、やはりスタッフ間の連携は大切だと感じました。病棟にMSWが居るのはとてもいいと思いました。
- ・回復期の機能がわかりやすく面白かったです。お2人とも丁寧な支援をされているのだと思いました。このような方のいる病院は選ばれる病院なのでしょうね。
- ・回復期リハビリ病棟の役割や事情を知ることができてよかった。在宅や施設との連携や求めるものについてもっと知りたい。
- ・回復期リハビリ病棟での日々の退院支援について改めて再確認できた。他病院での取り組み、退院支援についての重要なことを学べてよかった。
- ・回復期リハビリ病棟について、仕組みが難しく感じていたがとてもわかりやすく参考になりました。ありがとうございました。
- ・今まで知らなかった専門分野のお話を話づらいところまで正直にお答えいただいた内容でした。ありがとうございました。
- ・とても分かりやすく回復期リハビリの説明を聞くことができた。

<相談員>

- ・日頃、患者さんの支援でお世話になっている。回復期病棟の詳細について学ぶことができました。患者さんやご家族への説明の際に役立てたいと思います。
- ・回復期病院の役割や機能を改めて認識することができた。
- ・回復期病棟の現状が理解できてよかったです。

<鍼灸・マッサージ師>

- ・リハビリ(PT)やSW(相談員)の仕事内容が聞けて良かった。

【介護事業所】

<保健師>

- ・回復期リハビリと地域包括ケア病棟の違いをわかりやすく説明していただき理解を深めることができました。
- ・お2人とも丁度知りたいけど知る機会がなかった部分の情報をお聞きでき、とても参考になりました。
- ・今回のように、連携が多い他職種の立場でのお話が伺えると勉強になります。
- ・病床機能やFIM(機能的自立度評価表)について分かりやすく勉強になった。

<ケアマネジャー>

- ・疾患と入院期間、病棟の違いなどとてもわかりやすく理解することができました。リハビリの進捗、入院日数などにより指数や実績を意識しなければならないということで、医療機関の方々は大変だなと思いました。
- ・回復期の病棟について、大まかにざっくり、何となくしか理解していませんでした。とてもよくわかりました。今後もMSWの方と相談して対応していきたいと思います。
- ・回復期リハビリ病棟の取り組みがすごく良くわかった。地域ケア病棟との違いも詳しく教えていただき、自分の知識の中で曖昧に覚えていたところがよく理解できました。利用者さんにも説明ができます。
- ・各病院の取り組みがよくわかった。自分も患者家族の立場なので、相談しやすいMSWがいると相談しやすいと思った。
- ・MSWのどのような考えで普段の業務に当たっているか、板挟みの部分が多く大変な思いをされていることがわかりました。
- ・リハビリ病棟の仕組み、評価基準、連絡調整の秘訣など…。漫然と仕事をしてしまっているのですが、自分の仕事をしっかりと把握しやりがいを感じられるように姿勢を正したいと思います。
- ・MSWの方の立ち回りの大変さがすごくよくわかりました。CMとしては病院の窓口となって相談相手になってくれており、いつも感謝しています。
- ・細かく説明してくれたので、とてもわかりやすかった。MSWとケアマネが相談しやすい環境を築けたらいいと思う。

- ・ 病院内の事情が理解できた。リハビリの評価内容がわかり、その評価により病院の段階があることを知った。
- ・ 今担当しているケースに直面しているテーマだったので、専門職の方のお話が聞けて良かったです。
- ・ 各病棟の特徴を知ることができ、ケアマネジャーとしてこれからの支援の参考になりました。
- ・ 退院時の支援はCMIにとっても重要な部分なので、再認識させていただきました。
- ・ 相談員さんの話が聞けて良かったです。相談員さんの視点の広さに感動です。
- ・ それぞれわかりやすくよかったです。これからも連携が必要だと感じられました。
- ・ 普段わからない現場のことを知るいい機会になりました。ありがとうございました。
- ・ 病院の機能について学ぶことができました。顔の見える関係いいです！！
- ・ 仕事柄、やり取りの多い職種のお話だったため、勉強になったし参考になりました。
- ・ 入院の形態について詳しく理解することができました。
- ・ 回復期リハビリの仕組みについて確認できた。
- ・ 病院のMSWの本音が聞けてとても良かったです。
- ・ わかりやすい内容でした。
- ・ わかりやすかった。

＜相談員＞

- ・ 病院で勤めたことのない私にとっては、内部の様子がよくわかりました。利用者の支援に向けて連携を図っていく大切さを学びました。ありがとうございました。
- ・ 入院時の対応について、具体的に確認できてわかりやすかった。
- ・ どちらも分かりやすい説明で勉強になりました。

＜介護職員＞

- ・ リハビリテーション、回復期リハビリ病床がある施設（病院）があることはとても良いのですが、やはり早く回復すると退所するのでその後の問題がやはり皆様難しい話だと思いました。
- ・ 今回の研修に参加させていただいて、回復期リハビリテーション病棟の活動について、学ぶことができました。今後は「より良い連携」を意識して業務に努めたいと考えました。
- ・ 回復期リハビリテーション病棟について知る機会ができて良かった。内容が少し難しく感じた。MSWの役割や仕事内容を知ることができた。
- ・ 回復期リハビリテーション病棟の仕組みや病院から在宅への退院への仕組みなどよくわかりました。
- ・ とても分かりやすく理解することが出来ました。
- ・ リハビリについてわかりやすかった。

＜社会福祉士＞

- ・ 聞きやすくよかった。

＜施設長・管理者＞

- ・ リハビリ病棟でのFIM（機能的自立度評価表）評価について勉強になりました。リハビリ病棟のMSWの大変さが理解できました。
- ・ 回復期病棟の上限日数やMSWの動きんどとてもわかりやすかった。
- ・ 資料もとてもわかりやすく、とても勉強になりました。

【行政】

＜救急救命士＞

- ・ 各職種の難しさや細やかな対応などを知ることができ、一市民として安心感も感じました。現場のコアな部分や聴講者の方々の熱心さにも頭が下がる思いです。

4. 今後、どのような内容の研修会を希望されますか？

【具体的な内容等】

【医療機関】

<薬剤師>

- ・在宅での多職種連携に関して。
- ・困ったときのケーススタディ。
- ・認知症の介護のこと。

<看護師>

- ・困難事例の退院支援(独居, KPがいない, 家屋状況が悪い, 自己決定できない患者様の支援)。過疎地域(サービスや施設が限られた中)での退院支援や家族へのサポート。
- ・事例からどのような援助が必要か考える。そして, 実際にはどうしたか? 問題解決の方法などを知りたい。
- ・CMの話を聞いてみたい。施設で困ること, リハビリでここを重視してほしいことなど聞きたい。
- ・個別機能訓練についてやってほしいです。セラピスト以外でのリハビリなど。
- ・わかりやすく面白い, 今までにないタイプの研修を希望します。

<相談員>

- ・各HPの役割, 支援介入についての研修, 事例を含めて(療養, ホスピス, 包括ケア等)。
- ・ホスピスの現状や問題点など。

<鍼灸・マッサージ師>

- ・医療と介護の連携強化のため, 病院の内情を聞きたい。

【介護事業所】

<保健師>

- ・今回のように, 連携が多い他職種の立場でのお話が伺えると勉強になります。
- ・精神科。
- ・医療同意, 保証人問題など。身寄りなしの方の入院, 治療, 施設入所についての研修。

<ケアマネジャー>

- ・医療との連携について(相談員さんが必要とする情報(内容)やタイミングについてなど)。
- ・訪問診療, ホスピス, 緩和ケア。最近の函館ではどのような状況なのか。
- ・病棟看護師の仕事, 訪看の仕事。
- ・身寄りのない方の入院。

<相談員>

- ・体位交換, 拘縮(上下肢)ある方のポジショニング方法。
- ・医療ニーズと介護ニーズ。

<介護職員>

- ・特に希望する研修はありませんが, 今後も前向きに参加させていただきたいと思います。
- ・事例を交えた研修。グループワーク。介護の内容での研修。
- ・緊急時対応。看取り期の対応など。

<社会福祉士>

- ・救急搬送時の連携(HPと包括やCM, 施設)。

<施設長・管理者>

- ・医療⇄介護, 介護⇄介護の相互理解を推進できる研修を希望します。

5. その他、ご意見・ご質問等ございましたらご記入ください。

【医療機関】

<看護師>

- ・ とても分かりやすいお話ありがとうございました。

【介護事業所】

<保健師>

- ・ 病院のことがわかったのでよかった。

<ケアマネジャー>

- ・ 今回は医療関係者と分けての研修でとてもよかった。

<介護職員>

- ・ とても良い研修でした，ありがとうございました。

<施設長・管理者>

- ・ 良い研修だと考えており，今後も参加したいと思います。

【行政】

<救急救命士>

- ・ 他業種であるため，全ての理解ができていないところも自分自身ありましたが，講師の方々が大切にして
いることなど知ることもでき，非常に勉強になりました。ありがとうございました。